

# 2021年度 事業報告書

## FUKUGAKUバリューアップ計画 第I期



# 1. 2021年 MESSAGE From MATUMOTO

## 経営理念

- MISSION [We do] 人を創る社会を創る
- VISION [We love] 誰よりも人と社会を想う企業
- VALUE [We can] FUKUGAKU PRIDE  
FUKUGAKU SMILE

## 2021年度 事業メッセージ

人材育成を視点を  
「選ばれる」福知山学園・「選ぶ」福知山学園・「10年先を見据えた」福知山学園

## 善循環重要指標

重要指標	付加価値 総額の増加	目標利益率 の確保	福知山学園版 働き方改革	地域の 広がり	スタッフの 増加と育成
目的	利用者ニーズを 満たす雇用の創出 働きがい・やりがい ある福祉未来企業への 挑戦	持続発展のための 未来コストの確保と 働くスタッフの未来 創造	効果的・効率的な 働き方の追求による スタッフの幸福感の実現	地域の中で何が 求められているか、 地域の皆様の声を 活かして見つける福祉、 感じる福祉の創造	新たな人材との出逢い の創造と人創り文化の 深耕
R3年度 重点 メッセージ	10年後の人生設計が 可視化可能な基盤構築 と目的にマッチした 雇用創出	当たり前にならない 発想の大転換！ 改定に左右されない 財務体質安定基盤を創 るための「標準化」と 「平準化」による、事 務管理体制の大幅改定	無理な努力で支えられ ている事業は全てゼロ ベース 過去の慣習に囚われな い大胆な発想と積極的 な投資	在宅福祉ビジネスの創 造に向けた地域拠点 法人として安心して 暮らせる場所と トータルサポート 可能な体制整備	サポートセンター機能 の強化を通じた新たな 「人材育成」 「人材採用」 システムの構築
目標値	売上28億 職員数430名	利益率10%以上	人時売上4700円	地域拠点整備開始	人材採用40名 離職率5%以内

# 2-① FUKUGAKUバリューアップ整備計画 進捗 [新・みわ翠光園]

資金

新みわ翠光園整備資金計画 建築工事経費総額 17億1200万円

竣工式

令和4年7月7日（予定）



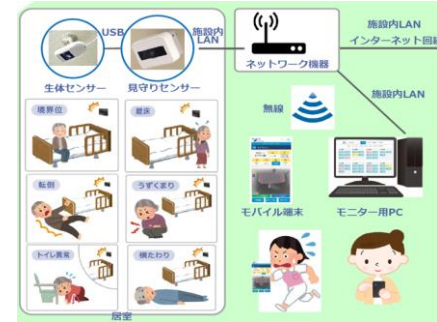
2022.6.17 完成予定



介護リフトの導入



見守り機器の導入



## 2-② FUKUGAKUバリューアップ整備計画 進捗 [セントラルキッチン]

資金

セントラルキッチン整備資金計画 建築工事経費総額 8億7千万円

竣工式

令和4年2月17日



4/1～配送開始【橘へ】⇒むとべ /7月：みわ⇒8月：おさだの・あまだ10月：ほほえみ



# 3. 2021年度 法人サポートセンター 人事部 Report

## Concept 「人財作り」

	財務の視点	顧客の視点		業務プロセスの視点	学習と成長の視点	
重要指標	更なる “働き方改革” の実践	働きやすい職場づくり	情報発信	採用・育成・定着の向上	学べるフィールドづくり	情報発信力の強化
目標値	法人人時売上高 の対前年比較 +500円	①:常勤職員離職率 5%以下 ②面談記録提出 ③組織活性化 プログラム結果 京都府平均以上	①新ホームページ 年度内完成 ②定期の広報誌の発刊 年3回 ③新しい情報発信 ツールの模索と導入	①新卒15名確保 ②中途25名確保 ③新)法人内新任研修 年間プログラム実施	①インターンシップ 年30名受入 ②フィールドワーク 年10名受入 ③現場実習 年40名受入 ④専門職講師派遣 年10名派遣 ⑤関係機関との実践	①企業・他法人 施設見学年間 3回
実績	今年度データを収集 中。 (超過勤務実績は、 前年度より増加 前年対比129%)	①5.4% ②新規入職者のフォ ロー面談等の内容につ いて各施設へ報告済 ③京都府平均より5ポ イント下回る結果となっ た。	①年度内の完成ができな かった。 ②年2回の発行はでき たが、3月発行予定が新年 度に入ってから発行となっ た。 ③公式LINEを導入。入 職希望者や内定者に向 けての情報発信をしてい る。その他は新ホーム ページの完成に合わせて 本格導入予定	①6名入職 ②32名入職 ③研修に関しては、コロナ の影響により、リアル対面 で実施予定の研修につ いては1つ中止としたが、開 催時期の変更を行うなど 調整を行い、ほぼ実施完 了。	①16回開催 33名参加 (全てオンラインでの開催) ②コロナにより開催実績無 ③17名 ④12名 ⑤コロナの影響 により実績なし	①コロナの影響により 実績なし

## ▶インターンシップ

22新卒採用活動ではオンライン説明会などを通して学生15名を内定。内、入職 6名。

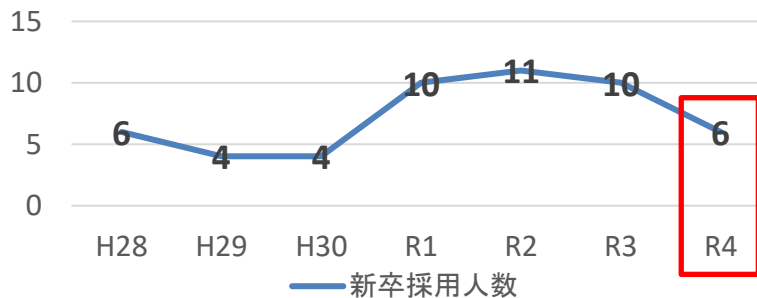
### 【開催・出展したイベント】

時期	イベント	開催回数 参加（訪問）人数
7～1月	※オンライン インターンシップ	全16回 計33名
2～3月	※オンライン説明会	全9回 計29名
10～3月	イベント出展	全11回 計91名訪問

(※コロナの影響により全てWEBでの開催)

### 【2022年度 新卒入社】

	性別	学校	職種	配属
1	女性	天理大学	支援員	おさだ地域
2	女性	龍谷大学	支援員	あまだ翠光園
3	女性	舞鶴YMCA国際福祉専門学校	支援員	みわ翠光園
4	女性	佛教大学	支援員	おさだの翠光園
5	男性	立命館大学	支援員	むとべ翠光園
6	男性	京都栄養医療専門学校	管理栄養士	セントラルキッチン



## ▶23卒採用活動情報

2023年度採用に向けても、オンライン説明会など進めております。  
2022年 4月23日現在、23卒内定者 9名

職種	学校名	備考（希望分野・現住所）	職種	学校名	備考（希望分野・現住所）
支援員	京都文教大学	障がい・児童・地域・相談 京都市	支援員	佛教大学	児童・地域 福知山市
支援員	京都文教大学	全分野 宮津市	支援員	花園大学	児童・相談・地域 京都市
支援員	甲南大学	児童・相談 兵庫県	支援員	佛教大学	障がい・高齢・地域・相談 福知山市
支援員	皇學館大学	障がい・児童・相談・地域 三重県	支援員	佛教大学	高齢 京都市
支援員	大谷大学	障がい・児童・相談 宇治市			

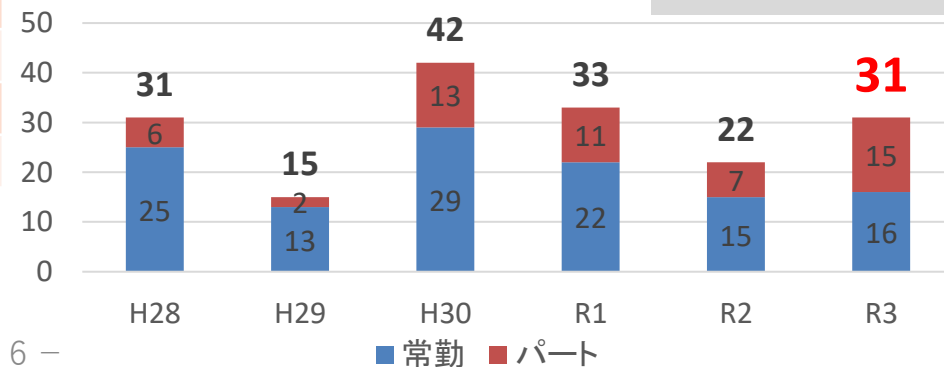
### 〔2021年度 上半期 採用状況〕

	TYPE	性別	職種	配属
1	キャリア	女性	事務員	むとべ
2	キャリア	女性	支援員	みわ
3	限定正社員	男性	支援補助員	JUMP
4	限定正社員	女性	支援補助員	みわ
5	限定正社員	女性	支援補助員	すまいる
6	パート	女性	事務補助員	あまだ
7	パート	男性	宿直員	すまいる
8	パート	女性	看護師	ほほえみ
9	キャリア	男性	支援員	おさだの
10	キャリア	男性	支援員	むとべ
11	パート	女性	介護補助員	ほほえみ
12	パート	女性	支援補助員	おさだの
13	パート	女性	支援補助員	むとべ
14	キャリア	男性	支援員	あまだ
15	キャリア	女性	事務員	法人SC
16	キャリア	女性	事務員	むとべ
17	パート	女性	看護師	むとべ
18	キャリア	男性	支援員	むとべ

### 〔2021年度 下半期 採用状況〕

	TYPE	性別	職種	配属
19	キャリア	男性	支援員	みわ
20	キャリア	男性	支援員	みわ
21	パート	女性	看護師	ほほえみ
22	新卒	男性	支援員	むとべ
23	パート	男性	調理員	橘
24	キャリア	女性	介護員	橘
25	パート	女性	介護補助員	ほほえみ
26	パート	男性	支援補助員	あまだ
27	パート	女性	支援補助員	ほほえみ
28	パート	男性	支援補助員	みわ
29	パート	女性	支援補助員	すまい・る
30	パート	男性	支援補助員	むとべ
31	キャリア	男性	支援員	あまだ

### 年間人数集計



▶2022年3月末日 職員総数 404名

TYPE	退職人数	退職率
キャリア (C)	18名	4.5%
セカンドキャリア (S)	0名	
限定正社員 (限)	4名	【C+S+限】 5.4%
契約 (K)	2名	【C+S+限+K】 5.9%
パート (P)	8名	【C+S+限+K+P】 7.9%

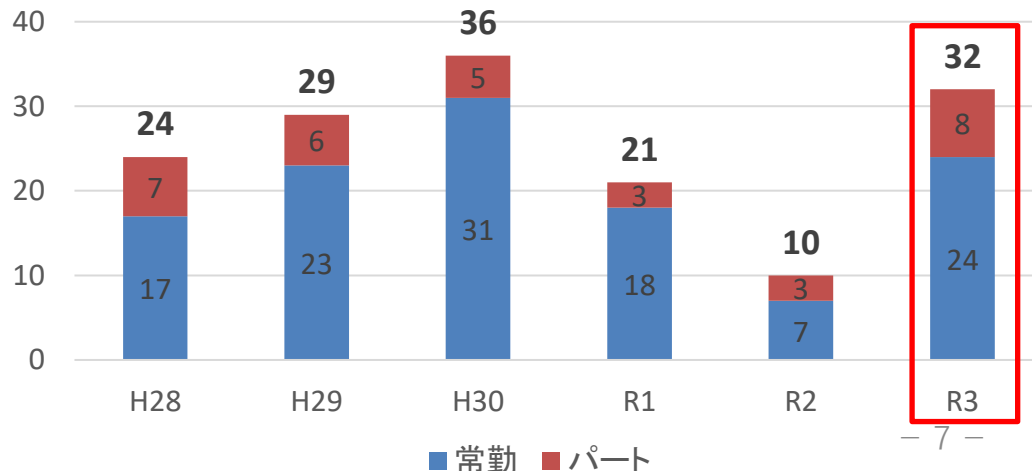
▶1年間では職員数10名の純増となり、過去最大の職員数となった。

退職について

＜正職員・キャリア＞ 男女比 7：11  
男女ともに最も多い退職理由は「転職」であり、男性は「体調不良」「その他」、女性は「結婚」「体調不良」と続く

＜限定正職員・契約・パート＞  
退職理由は「年齢」「結婚」が目立ち、特に年齢については、60歳後半～70歳代の方の退職が多かった。

年間人数集計



＜次年度・今後に向けて＞

今後の事業展開・事業拡大を進めるにあたって、入職者の確保だけでなく、退職防止が大きなポイントになる。  
年齢や希望に合わせた「柔軟な働き方」を、法人全体で提供することに合わせ、「魅力ある職場作り」「働きやすい職場作り」を継続して進めることで、他職種に人材が流出しないよう、施設の管理職と連携して【職場環境改善】に取り組む必要がある。



# 4. 2021年度 サポートセンター 財務管理部 Report

## Concept 「職員にとって信頼されるパートになります」

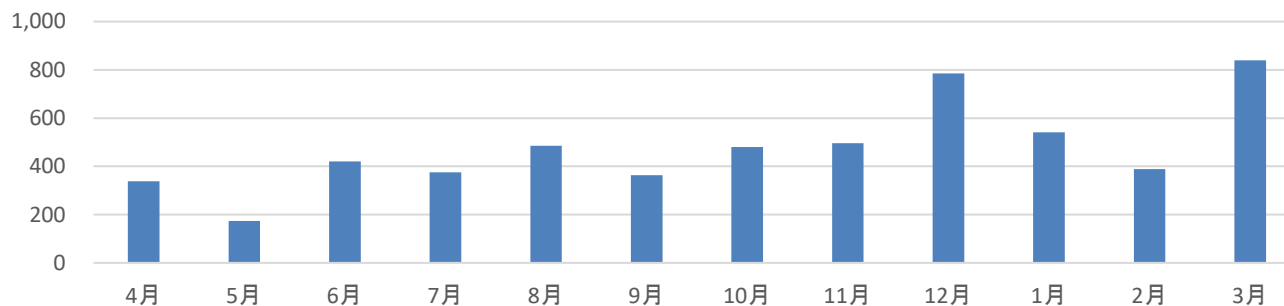
	財務の視点	顧客の視点	業務プロセスの視点	学習と成長の視点
重要指標	FUKUGAKUバリューアップ計画 投資資金の確保	働き方改革と適正な労務管理 ができる環境整備	FUKUGAKUバリューアップ計画の完遂	事務業務の標準化
目標	法人積立予算額の達成  稼働率の目標達成と経費削減	1、職員満足度向上  2、有給取得率アップ	FUKUGAKUバリューアッププランに伴う 安全なキャッシュフローの確保	1、業務効率化  2、事務業務マニュアルの作成
目標値	法人積立金  3億5千万円	1、組織活性化WL前年対比 0.05ポイントアップ  2、有給取得率 75%	金融機関借入等を含めた  中期キャッシュフロー計画書策定	事務業務マニュアル完成
実績	1.四半期毎の資金収支計算書の確認と施設へのサポートを実施。 2.四半期毎の財務会議の実施。  3.各施設で事業活動推移表を確認しながら必要なものを必要な時に申請・承認を経て購入。 収入 予算比 99.5% 事業費 予算比 101.4% 事務費 予算比 110.3%	1.勤怠管理システム導入により自身の勤怠管理の意識改革により退勤時間を早めて仕事のオンとオフのメリハリを付けワークライフバランスの向上を図れている。  2.勤怠管理システムの導入により勤怠管理の意識を更に高めて管理者も労務状況を把握し有給取得を促して有給取得率の向上を啓発した。 有給取得率 85.95%	1. FUKUGAKUバリューアッププラン完遂時までの3年間のキャッシュフロー表を作成し随時更新した。  2.月次の本部と各施設のキャッシュフローの確認を行い資金的な安全を確保、本部への6千万円の繰入を実施した。	1.業務効率化について定期で協議し木下税理士、日本経営の意見をききながら進めることができた。  2.日本経営にコンサルティングを受けながら事務業務マニュアルと業務フロー表を作成した。

▶有休取得率

年間期目標： 75% 実績： 85.95% (全職員)

従業員数	付与日数	取得日数	取得率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
417	6,615	5,685	85.95	338	174	421	375	486	363	480	496	786	542	388	840

月別有給取得日数



▶超過勤務時間 年間【前年対比129%】

	むとべ	あまだ	おさだの	みわ	ほほえみ	橘	JUMP	友就館	GH	SC	計
時間数 計	722	776	402	576	327	390	18	3	337	193	3,743
期末人数	90	59	64	53	29	35	12	8	31	19	400
年間/一人	8.0	13.2	6.3	10.9	11.3	11.1	1.5	0.4	10.9	10.1	9.4
前年対比	111%	181%	213%	130%	98%	130%	62%	120%	120%	79%	129%

▶令和4年5月1日時点の着地見込み

	令和3年10月1日 現在 (実績)	令和3年度 (10/1~3/31)	令和4年度 (予定)	令和5年度 (予定)	合計 (予定)
<b>Cash-in</b>					
設備投資積立金	1,876,805,000	180,000,000	320,000,000	320,000,000	2,696,805,000
銀行借入 (三井)		800,000,000			800,000,000
銀行借入 (北都)		200,000,000			200,000,000
国庫補助金				69,200,000	69,200,000
<b>収入 計</b>	<b>1,876,805,000</b>	<b>1,180,000,000</b>	<b>320,000,000</b>	<b>389,200,000</b>	<b>3,766,005,000</b>
<b>Cash-out</b>					
新みわ	651,532,940	427,513,300	665,551,009	36,179,000	1,780,780,249
CK	376,066,492	320,627,231	153,267,000	73,721,190	923,681,913
地域	0	0	400,948,200	333,517,800	734,466,000
<b>支出 計</b>	<b>1,027,599,432</b>	<b>748,144,531</b>	<b>1,219,766,209</b>	<b>443,417,990</b>	<b>3,438,928,162</b>
<b>資金残高</b>	<b>849,205,568</b>	<b>431,855,469</b>	<b>-899,766,209</b>	<b>-54,217,990</b>	<b>327,076,838</b>

▶中期キャッシュフロー

日付		摘要	資金	支出額(実績・予定)				支出計	残高
				事業計画	三井住友銀行	三井住友銀行	京都北都信用金庫		
			令和5年8月借入残高	273,592,000	800,000,000	200,000,000	1,273,592,000		
令和5年度	8月20日	FUKUGAKUバリューアップ完了時	269,968,152				0	269,968,152	
	半期	借入金(元金)返済		24,144,000	26,664,000	6,672,000	57,480,000	212,488,152	
	半期	借入金(利息)返済		600,000	2,400,000	804,000	3,804,000	208,684,152	
令和6年度	年間	借入金(元金)返済		48,288,000	39,996,000	10,008,000	98,292,000	110,392,152	
	年間	借入金(利息)返済		960,000	2,280,000	780,000	4,020,000	106,372,152	
	年間	令和5年度積立金	320,000,000				0	426,372,152	
令和7年度	年間	借入金(元金)返済		48,288,000	39,996,000	10,008,000	98,292,000	328,080,152	
	年間	借入金(利息)返済		720,000	2,160,000	732,000	3,612,000	324,468,152	
	年間	令和6年度積立金	370,000,000				0	694,468,152	
令和8年度	年間	借入金(元金)返済		48,288,000	39,996,000	10,008,000	98,292,000	596,176,152	
	年間	借入金(利息)返済		540,000	2,040,000	660,000	3,240,000	592,936,152	
	年間	令和7年度積立金	370,000,000				0	962,936,152	
令和9年度	年間	借入金(元金)返済		48,288,000	39,996,000	10,008,000	98,292,000	864,644,152	
	年間	借入金(利息)返済		324,000	1,920,000	580,000	2,824,000	861,820,152	
	年間	令和8年度積立金	370,000,000				0	1,231,820,152	
<b>計</b>			1,699,968,152	0	220,440,000	197,448,000	50,260,000	468,148,000	
			令和9年度末借入残高	48,248,000	610,019,000	153,296,000	811,563,000		
				令和11年4月完済	令和25年6月完済	令和25年6月完済			

▶各施設【施設設備主な修繕】

事業所名	内容	金額
むとべ翠光園	備品庫工事	1,795,597
	EVホール間仕切	158,167
	その他修繕	1,409,680
あまだ翠光園 JUMP	漏水工事	1,680,800
	サッシ修繕	229,082
	その他修繕	1,700,263
おさだの翠光園 友就館	漏水修理	749,410
	トイレ和式修理	335,059
	その他修繕	3,270,138
みわ翠光園	給水加圧ポンプ修理	435,050
	フェンス工事	125,753
	その他修繕	1,070,392
ほほえみの里	浴槽室修繕	3,548,019
	Wifi工事	578,160
	その他修繕	211,497
橘	受水槽配管工事	1,210,000
	エアコン修繕	621,500
	その他修繕	1,597,860
グループホーム	金物交換	413,410
	エアコン修繕	185,570
	その他修繕	1,097,496
本部	デスクトップ電気工事	1,573,000
	アスファルト工事	1,001,000
	その他修繕	3,097,123
計		28,094,026

▶固定資産購入

事業所名	内容	金額
むとべ翠光園	車両（てくてく）	1,760,000
	ミニリフト	461,850
あまだ翠光園 JUMP	ラック一式	222,420
みわ翠光園	床走行リフト	352,830
	ミニリフト	375,000
ほほえみの里	電話交換機	620,400
	エアコン	328,680
橘	スチコン	1,342,000
グループホーム	冷蔵庫	234,300
	エコキュート	350,000
本部	インタラクティブボード	715,000
	車両 2台	2,700,000
その他 固定資産購入		29,741,804
計		39,204,284

セントラルキッチン	建物	392,211,600
	調理機器	295,000,000

新みわ建築等支払い	建設仮勘定	995,313,900
-----------	-------	-------------

# 5. 2021年度 サポートセンター 危機管理室 Report

## Concept 「緊急事態にも対応できる安心な組織づくり」

	財務の視点	顧客の視点	業務プロセスの視点	学習と成長の視点
指標	未来投資ができる体制	ネットワークづくり	BCPの実践	DCPの強化
重要	1. 新規事業整備における 確実な積み立て ① 年間収支差額 3億2000万円 ①-2 稼働状況報告 月2回	1. 健康診断の充実 ①内科医検診 年2回訪問 ①-2腰痛検査 対象者年2回実施	1. 施設毎のBCP作成 ①BCP訓練の実施 年1回	1. BCP説明会、研修会 ①年1回の実施
目標値	2. 感染予防備品一括管理 ①年間予算1770万円	2. 各種規程の更新 ①、第一四半期までに完了	2. 施設自主点検見直しと強化 ①年1回の実施	2. 社会福祉実習指導者育成 ①年1名研修受講
	3. BCPコンサル管理 ①成果物 4点 【契約金1700万円】 1)BCP業務一覧 2)業務マニュアル・フロー表 3)帳票(チェックリスト等) 4)モニタリングルール	3. 社会福祉士現場実習受入体制 構築 ①年間2名受入	3. 感染予防備品一括管理 ①常時3ヶ月以上の確保	3. 基幹型相談支援センター へのプロジェクト会議 ①法人内会議 月1回以上 ②外部会議 四半期1回以上
		4. 要配慮者が安心できる避難体制 ①福知山市危機管理室 との連携会議 年4回	4. 災害時・緊急時の連絡体制構築 ①緊急連絡訓練の実施 年2回	4. 地域生活支援拠点整備 へのプロジェクト会議 ①法人内会議 月1回以上 ②外部会議 四半期1回以上
		5. DCP(案)作成 ⑤福知山市、各種関係機関 とのネットワークづくり	5. 新型コロナ対策管理 ①月2回の報告 (管理者会議・執行役員会)	
実績	1-①-1 ▶施設毎の月次の振り返りと 四半期毎の各施設と財務 管理との協議を実施	1-①-1 7/13 X線検診 終了 7/20 健康診断 終了 1-①-2 8/23 腰痛検診 終了	1-① BCP作成完了 ▶11/22 BCP訓練実施	1-① 8/6 法人役職者対象 BCP説明会 開催
	1-①-2【上半期平均稼働率】 ▶入所事業所 97.9% ▶通所系事業所93.9% ▶短期事業所 93.9%	2-① 労務・財務関連終了	2-① 定期点検実施済	2-① コロナ禍の為、未実施
	2-①予算執行率 85.3%	3-① コロナ禍の為、未実施	3-① 共有ドライブにて常に在庫状 況を把握している	3-① 定例会議実施 3-② 3月福知山市 市長宛てに 基幹センター協議書提出済
	3-① 成果物4点作成完了	4-① コロナ禍の為、未実施	4-① 小単位にてテスト実施。 10/13・14 前職員向けテスト	4-① 定例会議実施 4-② 未実施
		5-① 法人BCP・各施設BCP作成を 優先し実施してきたため DCPは未実施	5-① 月2回にて状況報告の実施 ・職員、ご利用者の状況につ いては、リアルタイムで報告実施	8/17 新規 重度対応型GH 国庫補助申請について、京都府 ヒヤリングを実施

## ▶新型コロナウイルス 大規模ワクチン接種

- ・接種業者：関西健康福祉協会
- ・ワクチン：ファイザー社製「コミナティ」

新型コロナ ワクチン接種日	グループ 編成	接種 人数	利用 者	希望 職員
6/2 (水) 1回目	第Ⅰ グループ	400人	58人	342人
6/21 (月) 2回目	第Ⅰ グループ	400人	58人	342人
9/14 (火) 1回目	第Ⅱ グループ	108人	103人	5人
9/22 (水) 1回目	第Ⅲ グループ	120人	115人	5人
10/5 (火) 2回目	第Ⅱ グループ	108人	103人	5人
10/13 (水) 2回目	第Ⅲ グループ	120人	115人	5人
2/21 (月) 3回目	第Ⅰ グループ	174人	31人	143人
2/28 (月) 3回目	第Ⅱ グループ	169人	49人	120人
3/28 (月) 3回目	第Ⅲ グループ	110人	60人	50人
4/21 (木) 3回目	第Ⅳ グループ	239人	231人	8人

## ▶2021年度 コロナ感染症対策経費

合計：14,495,080-円

プラスチック手袋				
8月	2万枚	638,000円		
2月	17万枚	545,490円		
年間	19万枚	1,183,490円		
ヒビスコール				
5月	200ℓ	660,000円		
9月	290ℓ	930,600円		
2月	360ℓ	1,188,000円		
年間	850ℓ	2,778,600円		
マスク				
12月	7万枚	2,211,000円		
年間	7万枚	2,211,000円		
エンボスエプロン			合計	
2月	3000枚	185,680円		
年間	3000枚	185,680円	<b>6,358,770円</b>	
経費項目	数量	単価	金額	
コロナ感染対応特別手当	201名	48日間想定	4,588,530円	
帰宅困難者ホテル宿泊料	295泊	@6000~6700	1,788,900円	
スリーエス医療廃棄物運搬料	192箱	@5390	1,034,880円	
スリーエス医療廃棄物処理料	9600L	@55	528,000円	
感染対応使い捨て食器料	一式	—	196,000円	
			合計	<b>8,136,310円</b>

- 福知山学園 全事業所（ご利用者・職員）を対象に福知山で震度7の大地震が発生という想定の下、BCP訓練を実施。

BCP訓練概要	▶被災直後の初動対応訓練		
	<法人サポートセンター対応>	<各施設・事業所対応>	<参加者>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 対策本部の設置</li> <li><input type="checkbox"/> 情報収集</li> <li><input type="checkbox"/> 情報共有・発信</li> <li><input type="checkbox"/> 行政との連携 [中丹西保健所・福知山市]</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 安全確保</li> <li>2. 安否確認</li> <li>3. 避難誘導</li> <li>4. 医療的処置</li> <li>5. 法人内部連携</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 法人全職員・全利用者</li> <li><input type="checkbox"/> 中丹西保健所 福祉課</li> <li><input type="checkbox"/> 福知山市 危機管理室</li> <li style="padding-left: 20px;">障害者福祉課</li> <li style="padding-left: 20px;">高齢者福祉課</li> <li><input type="checkbox"/> 東分署</li> <li><input type="checkbox"/> 日本総研</li> </ul>

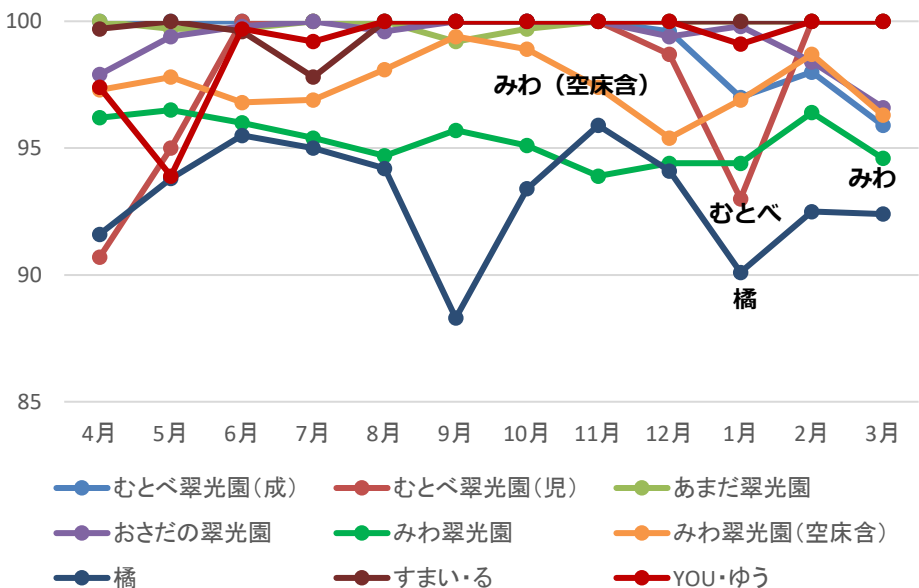




# ●2021年度 各事業所稼働状況

**【危機管理室】**

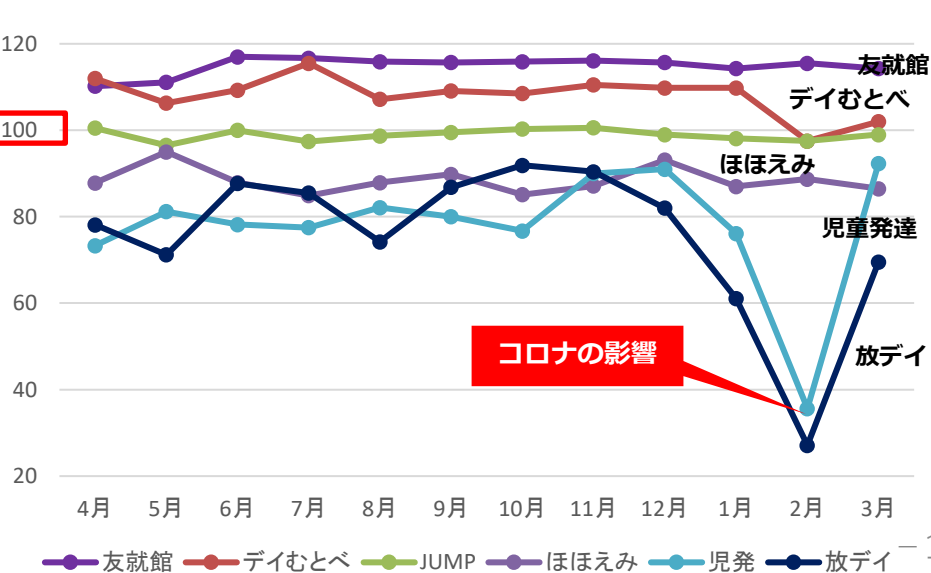
## 入所事業



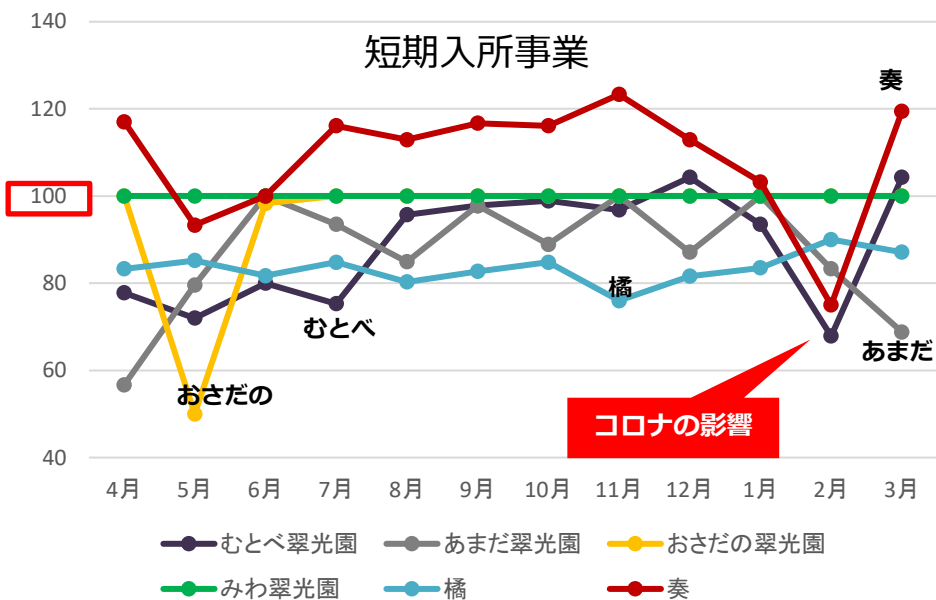
## 各事業平均稼働率

	入所事業	短期事業	通所事業	
むとべ翠光園 (成)	99.2%	88.7%	むとべ (デイ)	108.1%
むとべ翠光園 (児)	98.1%	—	友就館	114.9%
あまだ翠光園	99.9%	86.7%	JUMP	98.9%
おさだの翠光園	99.2%	95.7%	すきっぷ (児発)	77.8%
みわ翠光園	95.3%	100%	(放デイ)	75.5%
【空床短期】		46.5%		
YOU・ゆう	99.1%	108.8%		
橘	93.1%	83.4%		
すまい・る	99.8%	—		
ほほえみ (ハウス)	53.4%	—	ほほえみ (デイ)	88.4%

## 通所事業



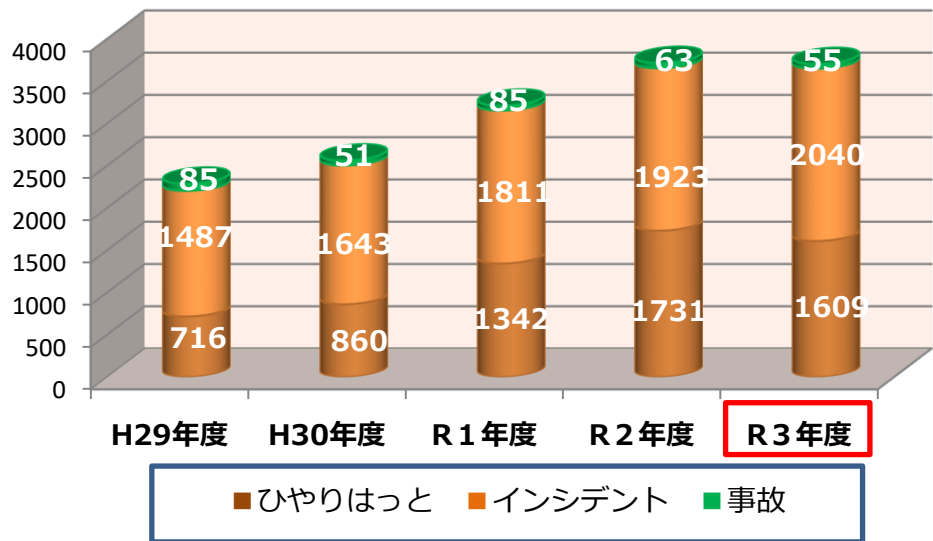
## 短期入所事業



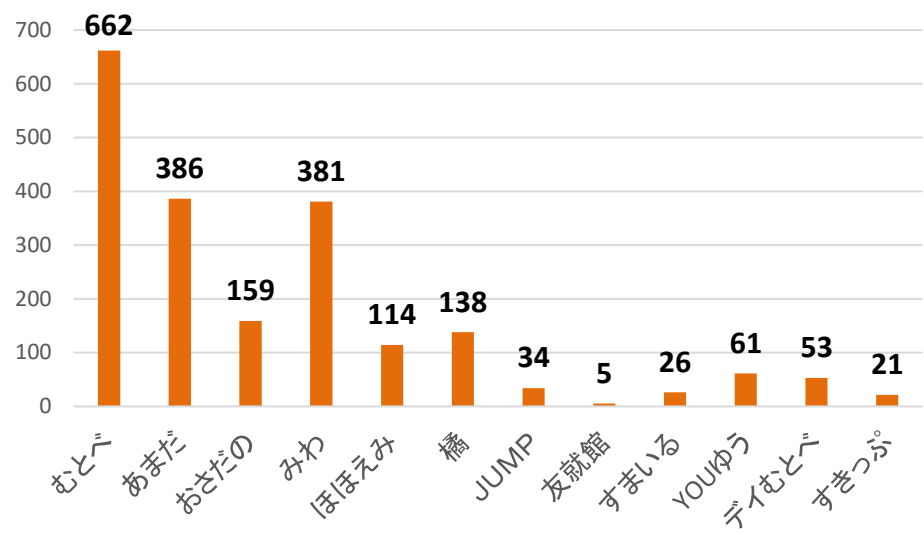
# ●2021年度 事故発生&ひやりはっと 発生件数

【危機管理室】

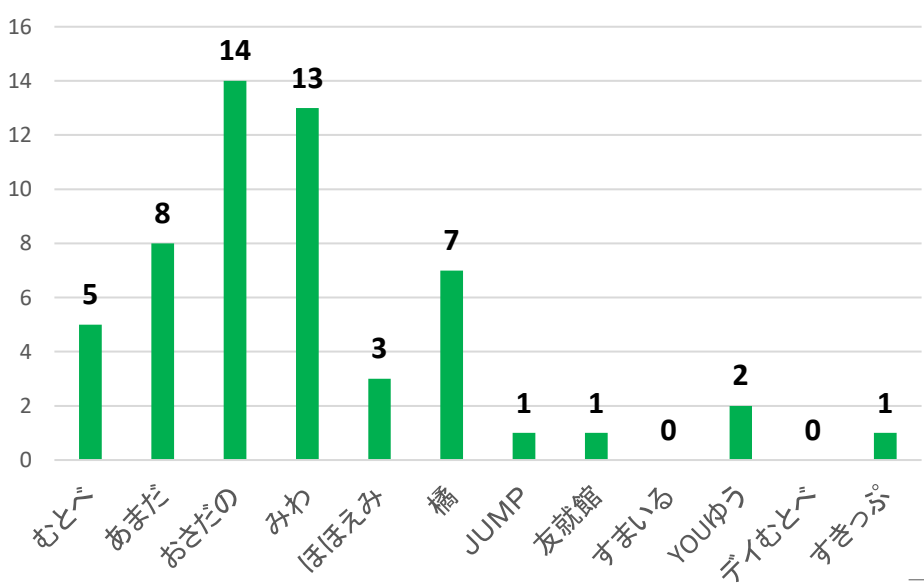
## 5年間の推移[法人全体]



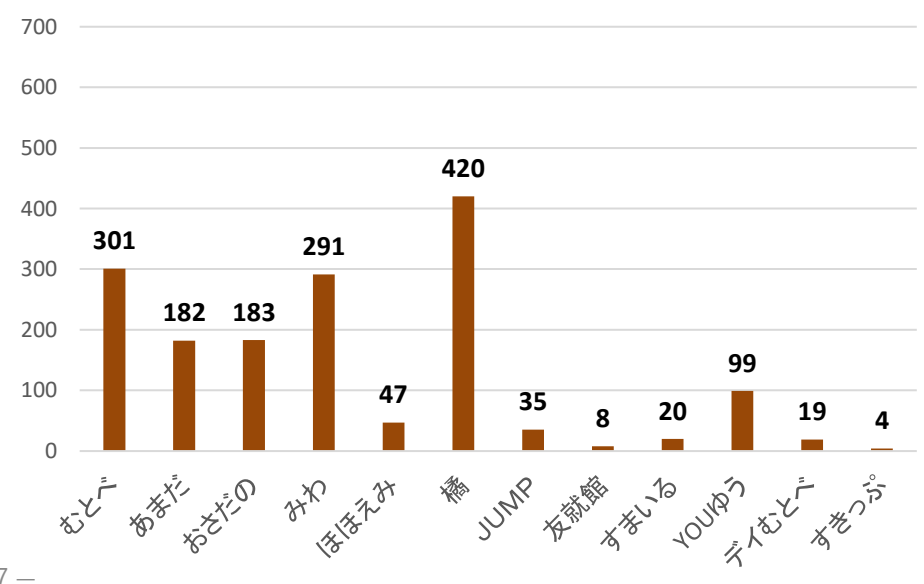
## <インシデント>



## <事故報告件数>



## <ひやりはっと>

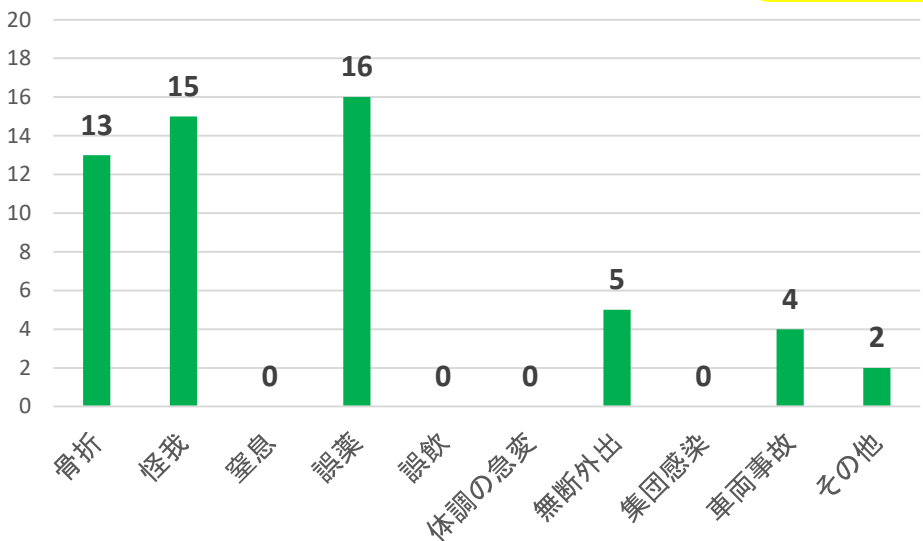


# ●2021年度 事故発生&ひやりはっと種別

【危機管理室】

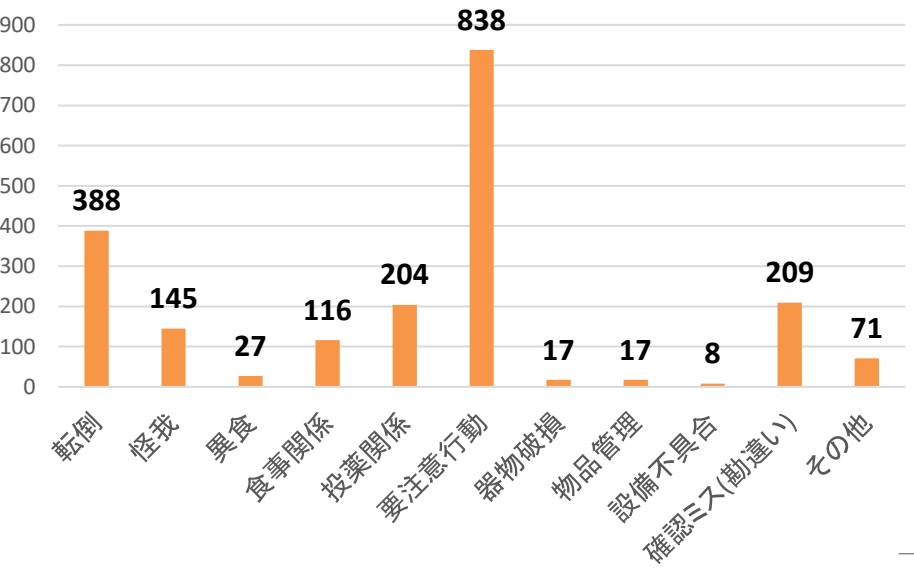
事故種別

55件



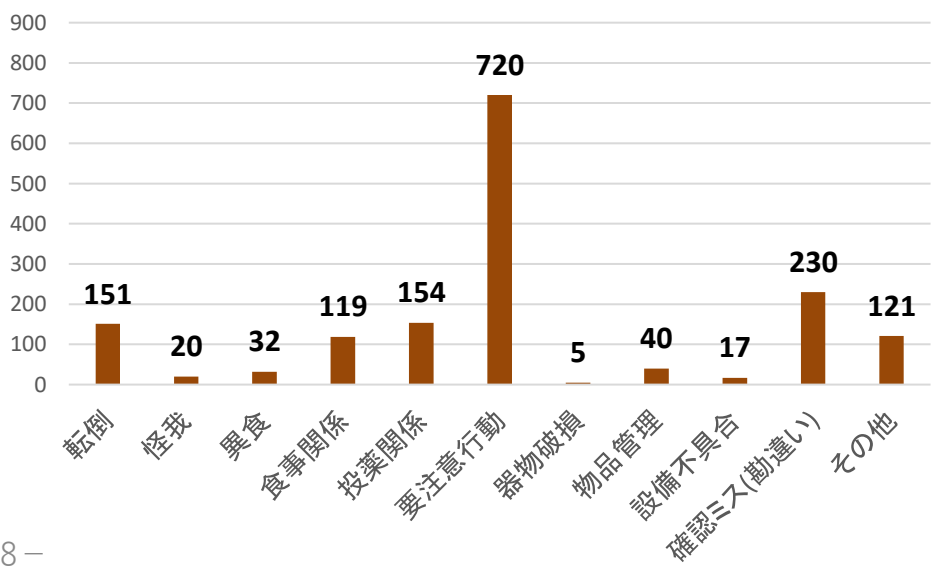
インシデント種別

2040件



ひやりはっと種別

881件



# 6. 2021年度 むとべ翠光園 Report

## Concept 「ご利用者にフォーカスした支援が出来る職員集団となる」

	財務の視点		顧客の視点		業務プロセスの視点	学習と成長の視点
重要指標	安定的 ・継続的な経営	予算の有効活用	ご利用者に対して安心安全の提供	施設の魅力発信	ワークライフバランスの向上	チャレンジ出来る組織風土の醸成
目標値	①通年稼働率 ▶入所(成人) 98% ▶入所(児童) 98% ②日中一時支援 ▶収益率40% ③ショートステイ ▶98%	①予算執行率確認(各科目毎) ▶毎月 ②優先度の見極め	①ヒヤリハット報告 ▶前年度比増 ②事故 ・インシデント報告 ▶前年度比10%減	①HP更新回数 ▶月2回以上	①終業時刻の30分以内退勤 ▶退勤率70%以上 ②有給取得 ▶取得率75%以上	①プロジェクトXの取り組み ▶事例発表 ・各ユニット1ケース ②施設内研修 ▶年会2回以上実施 (1回は外部講師招待)
実績値	①通年稼働率 ▶入所(成人) 99% ▶入所(児童) 98% ②日中一時支援 ▶収益率 464% ③ショートステイ ▶稼働率 90%	①予算執行率 ▶生活介護収入 ・介護給付費:98.1% ・事業費支出:106.6% ・事務費:112.4% ▶児童入所支援 ・事務費収入:104.8% ・事業費支出:97.4% ・事務費支出:122.8% ②優先度の見極め むとべ翠光園内事務会議実施:1回~2回/月	①ヒヤリハット ▶前年度対比 63.6% ②事故 ・インシデント報告 ▶前年度対比 193%	①HP更新回数 ▶月2回以上 平均1.8回/月	①30分以内の退勤率 95%以上 ②有給取得 85%以上	①プロジェクトX取り組み ▶事例発表各ユニット 0ケース (職員の配置上厳しい状況があったため、職員の業務過多を考慮の中で、今年度は実施しなかった) ②施設内研修 1回/年 (新型コロナウィルスの感染防止対策から外部講師の研修を中止とし、むとべ翠光園の職員による研修を1回実施した)

# 7. 2021年度 あまだ翠光園 Report

## Concept 「より良い生活のための業務効率の追求」

	財務の視点		顧客の視点	業務プロセスの視点	学習と成長の視点
重要指標	安定した施設経営		安心安全な生活の提供	業務効率化による ワークライフバランスの適正化	考え、実践する職員の育成
目標値	①入所稼働率 99%	新規施設利用希望者数 1名以上	①事故報告書 前年比-20%	①有給消化率 年間75%以上	①受入事例報告 年間2件
	②短期入所稼働率 90%		②ヒヤリハット報告提出数 前年比+	②超過勤務時間 前年比-20%	②研修受講数 前年比+10%
					③離職率 5%
					④人員配置 100%維持
実績値	①入所稼働率 99%	新規利用契約 施設入所 2件 短期入所 2件 生活介護 2件	①事故報告書 今年度 10件 (昨年度 22件)	①有給消化率 今年度 74.6%	①今年度のコンサル支援 2件
	②短期入所稼働率 90%		②ヒヤリハット報告提出数 今年度 571件 (昨年度 659件)	②超過勤務時間 今年度 265時間 前年比 146% (昨年度 185時間)	②外部研修参加者数 22人(リモート研修含む)
					③離職率 7% (離職者 4名)
					④未達成 -7名

# 8. 2021年度 おさだの翠光園 Vision

## Concept 「チームワークの醸成と施設運営」

	財務の視点		顧客の視点		業務プロセスの視点		学習と成長の視点	
<b>重要指標</b>	財務基盤に基づいた適正な運営	厳正なる予算執行	在宅利用者受け入れ推進	施設の魅力発信	働きやすい職場環境	専門知識と実践		
<b>目標値</b>	①サービス全体の稼働率99%以上 ②水光熱費 昨年比マイナス	執行率95%以上	①支援学校生2名以上の実習受け入れ ②在宅ご利用者施設見学の実施	HPの更新頻度 月2回以上	①有給消化率78%以上 ②超過勤務時間の削減 昨年比マイナス ③RM報告から昨年対比マイナス指標の達成	①施設内・外研修 一人1回以上参加 ②実践取組みを 実践報告会で発表		
<b>実績値</b>	①サービス全体 平均稼働率 95.7% *生活介護107.4% *施設入所支援 99.3% *短期入所 95.7% *日中一時 80.5% ②水光熱費 *電気代……112% *水道代……122% *ガス代……101% *灯油代……127% *ガソリン代…89%	予算執行率 年間予算に対する 半期執行率 4月～9月 47.3% 通年執行率 103.7% *昨年半期 46.7% *昨年年間 96.7% ・PC3台購入 ・漏水改修工事 ・倉庫整理用品 ・陶芸窯修理 ・廃棄物処理費	コロナ禍の影響が受け入れ態勢は確保していたが、実際の申込者はなかった。 ▶近隣支援学校との情報共有 ▶相談支援機関との連携によるニーズの把握 ▶施設内受け入れ態勢の調整(人員配置)	更新回数 39回 *月平均更新 3.2回 *アクセス総数 3449回 ※ページビュー数にて集計	①有給消化率 85.0% *一人当たりの平均消化日数 13.9日 ②超過勤務 通年 466.5時間 昨年 163時間 *昨年比 286%増 ③事故 14件 インシデント 159回 ヒヤリハット 183回 *昨年比 事故 55%増 インシデント 5%減 ヒヤリハット 7%減	①法人外研修 計26名 全国大会 10名 強度行動障害基礎 7名 実践 1名 初任者研修 4名 社会福祉簿記 1名 安全運転管理者 1名 サビ管更新 2名 *法人内研修 計33名 ②今年度 実践報告を実施		

# 9. 2021年度 みわ翠光園 Report

## Concept 「地域の信頼につながる事業所になる」

	財務の視点	顧客の視点		業務プロセスの視点		学習と成長の視点	
重要指標	ショートステイを含んだ稼働率の維持向上	健康で満足度の高い生活の提供		働きやすい職場環境作り		専門知識の習得と向上	
目標値	ショートステイを含んだ稼働率99%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誤嚥性肺炎</li> <li>・尿路感染</li> <li>・骨折</li> </ul> での入院者数の10%減少(前年比)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故件数の減少 [前年比]</li> <li>・ひやりはっと報告報告による改善件数のアップ</li> </ul>	有給消化率 75%以上	間接業務の効率化と適正な役割分担による <b>超過勤務の減少</b> [前年比ダウン]	施設内ミニ勉強会の開催 年間3回以上 [前年比10%UP]	実践報告件数年間2人以上 [前年比UP]
実績値	稼働率 97.2%  入院者の増加により、空床が増えることとなった。  ショートステイの受け入れを加速したが、コロナ感染のリスクから、利用を控えられるご家族もあり、稼働率を維持できなかった。	入院治療を行ったのは、  誤嚥性肺炎 1名 尿路感染 1名 骨折 3名 腎盂腎炎 3名  であった。 前年度の入院者数とほぼ同じ状態となった。	事故件数 6件  昨年よりも1件多かった。  ヒヤリハット報告の件数は多かったが、事故件数の減少にはつながらなかった。 車いすからのずり落ちや、ご利用者間のトラブルも数件あった。	全員の75%以上の有給消化にはならなかったが、感染リスクを避けるための自主的な有給消化もあり、  多くの職員が75%以上の取得ができた。	勤怠システムの導入により、時間内で業務を終えようとする意識が高まり、 <b>超過勤務は減少</b> している。  コロナ禍で外出や行事も自粛しているため、デスクワークを取る時間も増加している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内人権研修</li> <li>・見守りシステム見学研修</li> <li>・ノロウイルス勉強会</li> <li>・非常食対応訓練</li> </ul> 以上の研修を実施したが、必要に迫られた研修であり、職員の資質向上の目的は達成できなかった。	みわ翠光園移転を控え、寮間の異動によりリフト使用研修を行ったが、後半はコロナ感染拡大により、移動研修はできなかった。

# 10. 2021年度 JUMP Report

## Concept 「価値ある活動・支援の追求」

	財務の視点	顧客の視点		業務プロセスの視点	学習と成長の視点
重要指標	安定的収入の確保	地域発信の向上	ご利用者満足度の向上	ワークライフバランスの向上	スタッフ・チームの強化
目標値	年間稼働率 100%以上	①ほっとはあと等エントリー 受注件数 年間10件以上  ②HPアクセス数 20%UP(前年比)	ご利用者アンケート満足度 2.5以上	年間有給取得率 80%以上	①法人内外研修参加 1回以上/人  ②事業所内研修会 ・勉強会の実施 3回以上/年
実績値	・年間稼働率 98.9%  ・新規ご利用者 1名契約・利用開始 (8月)  ・契約ご利用者の継続的 利用	①京都ほっとはあとセンター・ 福知山市による ・年間エントリー件数 21件 ・年間受注獲得件数 10件  ②年間HPアクセス数 75%UP(前年比) 年間HP更新回数 27回	・ご利用者満足度 2.45  〔1月アンケート実施 2月アンケート集約〕	・年間有給取得率 77.0%	①年間研修参加 法人内研修 10名(1~2回/人) 外部研修 2名  ②事業所内研修会・勉強会 勉強会実施: 2回 研修会実施: 1回



# 11. 2021年度 友就館 Report

## Concept 「開拓と拡充 新たな展開に向けて」

	財務の視点			顧客の視点		業務プロセスの視点	学習と成長の視点
重要指標	年間就労 収益額	年間稼働率	開拓・拡充	月平均支給額	高品質な 野菜の提供	年間有給消化 率	農業改良普及セン ター職員による実地 指導、及び研修参加
目標値	年間 550万円以上	稼働率 107%以上	①野菜について 複数の販路獲得  ②委託作業に於 ける、継続的かつ 安定した収益の 確保	就労継続支援B型 24,100円  生活介護 12,500円	①全体の40%以上 を機能性種苗で栽培 する ②自家製苗 80%以上 ③ネット販売構築	85%以上	年間6回以上
実績値	年間収益： 5,015,624円  内訳 委託作業 2,427,071(48%) 農園作業 1,902,248(38%) 製菓作業 686,305(14%)  達成率：91.2%	年間稼働率  就労継続支援 B型： 112.1% 生活介護： 117.5% 合計稼働率： 114.8%	①地場野菜を扱 う地域小売店に 依頼を行ったが、 新規販路の開拓 には至らなかった。  ②既存の委託業 者から比較的単 価が高い作業が あり、取り組んで いる。	就労継続支援B型 平均工賃時間額 215円 平均工賃月額※1 24,100円 達成率： 100%  生活介護 平均工賃時間額 112.6円 平均工賃月額※1 12,620円 達成率： 101% ※年間延時間 1,345(1日5時間 ×269日)時間で 計算	①機能性種苗割合 82.5%  ②自家製苗 84.0%  ③8月に店頭販売に てQR電子決済 (Paypay)を導入。 年間売上は農園収 益全体の3.6%。	年間有休消化率 98%	実地指導は4月と10 月に計2回行ってい ただいた。 コロナ禍ということもあり、 思うように行う事ができ なかったが、メール等 を使用しての相談等を行 った。 特に経験のなかった大 麦栽培については、適 時相談を行い、アドバ イスを受けた。

# 12. 2021年度 YOU・ゆう Report

## Concept 「地域と共に歩む」

	財務の視点			顧客の視点		業務プロセスの視点		学習と成長の視点	
重要指標	健康管理 (入院・通院)	稼働率の維持・上昇	ご利用希望者のニーズ把握	響奏 安心・安全	YOU・ゆう 余暇支援の充実	地域との 繋がり	業務効率と 分掌化	外部研修参加	事業所内研修 (企画と実施)
目標値	入院者数の削減  令和2年度 51日 ↓ 令和3年度 25日以下 (50%減)	短期入所利用の維持・アップ  令和2年度 平均:27日 ↓ 令和3年度 平均: 29日以上	利用希望者の情報収集  年3件以上	業務内容の見直し 4月～6月 ・マニュアルの見直し 7月～9月 ・内容の共有 10月～12月 ・見直し後の各業務の確認 1月～3月 ・確認内容からの課題の修正等	ご利用者の生活の広がり  集団でできる余暇の提供 ①室内 ・屋外余暇 1回/月以上  (コロナ禍でもできる内容)	地域貢献 ◆響・奏 ①地域の公共の建物に花を飾る 2回/年 (学校・公会堂・児童館等)  ◆YOU・ゆう ②地域奉仕活動 [六人部地区クリーン活動]	①有給休暇の取得率UP 年間有給取得率 75%/年以上 ②業務の平準化 雇用形態に応じた仕事の明確化	資格取得 ①実務者研修 1名  ②強度行動障害支援者養成研修 2名  ③サービス管理責任者研修 2名	虐待防止研修 ①虐待防止の施設内研修 1回/年  ②身体拘束特別支援会議 2回/年  ③記録 その都度
実績値	入院件数3件 ①55日間 R2年度からの継続入院 ②3日間 内痔核切除 ③7日間 慢性硬膜下血腫 計65日	月平均33日 稼働率 (年間)108.4%	3件	・送迎車両の座席表・順番の見直し ・スタンディングリフト増設 ・休憩時間の明確な設定及び一日の業務プログラムの見直しを実施。	新型コロナウイルス感染症対策で、屋外での余暇は未実施であったが、オリンピック、クリスマス等のイベント時期での企画、かき氷等の季節に応じた取り組みを行った。	新型コロナウイルス感染症対策の為、未実施。	①年間 89.1% ②担当ご利用者業務・記録業務等、雇用形態の違いに応じた業務内容を実施。	①1名受講 ②基礎研修1名 実践研修1名 計2名受講 ③2名受講 更新研修1名 受講	①9月実施 ②9月1回目実施 3月2回目実施

# 13. 2021年度 すまい・る Report

## Concept 「今できることを見つめ・楽しみ・暮らす（支える）」

	財務の視点	顧客の視点		業務プロセスの視点		学習と成長の視点
重要指標	費用支出の適正化	グループホームで 楽しみある生活	細やかな課題の 抽出	グループホームの 魅力発信	理解しあう支援者 チームの形成	対応力・支援力 の向上
目標値	生活費支出 前年比(ー)	コロナ禍における イベント等含む 「楽しみ」「取り組み」 の提供  1回以上	▶ご利用者 アンケートの作成  ▶ご利用者 アンケート実施 年1回	▶ホームページ更新 月1回  ▶ホーム便りの発行 年3回	▶世話人会議 月1回  ▶YOUゆうとの 合同会議 隔月1回	▶世話人勉強会開催 年4回  ▶連絡ノート、デジタル 器具の有効活用 毎日
実績値	食材費 前年比 74%(-26%)	イベント等 ▶スーパーハナコ 毎月1回実施 (各ホーム毎に)  ▶おやつ作り 今年度 7回実施 (各ホームにて)  ▶その他お楽しみイベント 今年度 10回実施	アンケート 未作成 未実施	ホームページ更新 毎月更新 今年度延べ 23回  ホームだより 年3回発行	スタッフ会議 (世話人含む) 2月除く毎月開催 ※2月はあまだ翠光園 コロナ発生のため中止  YOUゆうとの合同会議 リモート含め 今年度 7回開催 ※対面2回、リモート5回	世話人勉強会 今年度 7回実施  連絡ノート、PADの 有効活用 PADに提供食事画像を 取り込んで共有したり、 チャットワークを活用し 情報発信&共有

# 14. 2021年度 児童発達支援センターすきっぷ Report

## Concept 「ますます必要な存在へ」

	財務の視点	顧客の視点	業務プロセスの視点		学習と成長の視点
重要指標	安定した収入の確保	親支援プログラムの実施	業務内容の改善による業務効率化	リスクマネジメント意識の向上	スキルアップ モチベーションアップ
目標値	目標稼働率の達成 ①児発 90%以上 ②放デイ 90%以上 ③保訪月 20件以上	①保護者参加行事 延べ参加人数: 昨年対比 5%UP ②保護者面談の実施 年間1人2回以上	有給取得率 75%以上	リスク事例の確認・検討の実施 1回/月	SV訪問指導について、指導項目の確認を実施 管理職との面談 1回/2か月
実績値	平均稼働率 ①児発 78.1% ②放デイ 76.0% ③保放 月12件 コロナによる欠席、閉所が影響した。	①保護者参加行事 ・個別親子療育 23世帯参加 昨年対比100% ・保護者deおしゃべり 9名参加 昨年対比11%UP ②保護者面談 89名中 延べ151名実施 年間1人1.6回 市内のコロナ感染状況に応じて中止や延期とした期間があった。	50.8% 職種、(パート、時間給、正職)による偏りがある。	1回/月実施 職員会議内での議題とし、毎月実施することができた。	1週間前には事前確認を行うことが定着した。スタッフ間で相談共有することができ、個人や事業所のスキルアップに繋がった。 定期的な面談は実施できなかったが、日常の会話の中でモチベーションアップに向けたコミュニケーションを図ることはできた。

# 15. 2021年度 相談支援センターてくてく Report

## Concept 「Reborn てくてく」

	財務の視点		顧客の視点		業務プロセスの視点		学習と成長の視点		
重要指標	収益UPへの貢献	迅速なサービス利用調整の実施	相談しやすい事業所作り	メリットの高い相談支援事業所作り	業務効率化の実施①	業務効率化の実施②	スキルアップ①	スキルアップ②	地域支援力の向上(基幹型への準備)
目標値	モニタリング件数UP (昨年対比: +10%)	エントリーリスト・待機者情報を法人全体に情報発信する (1回/1カ月)	相談件数UP (昨年対比: +5%)	ホームページの毎月更新	ミニミーティングの毎週実施	法人内勉強会の実施 (1回/年)	ブラッシュアップ会議の開催 (1回/2カ月)	法人内事業所とのケース会議の実施 (1ケース/ 1人/年2回)	福知山市内において新たな仕組み作りが完成する (1つ以上)
実績値	目標値315件(昨年対比+10%)に対し、 <b>実績値446件</b> 達成。	月1回の発信とエントリーリスト情報の更新を行った。  又、法人内事業所がより活用しやすいエントリー一覧表を作成。	目標値2604件(前年対比+5%)に対し、 <b>実績3057件</b> 達成。	<b>年間7回更新</b>  事業所情報や研修参加の様子等を法人外に発信することができた。	<b>毎週月曜日朝にミニミーティングを開催</b>  週の予定と合わせて各ケースの進捗状況を事業所内で共有した。	新型コロナウイルスの感染拡大もあり勉強会の開催は出来なかった。  各事業所の計画作成担当者と密に連携し、計画作成の効率化に努めた。	主にスタッフ会議の中でケースのブラッシュアップを行った。  うち年2回はケースのブラッシュアップに重点を置いた会議を開催。	法人内事業所とのケース会議を <b>3ケース実施</b> 。  又、 <b>すきっぷとの連携会議を毎月開催</b> 。両事業所の連携を強化し、ケース対応に繋がった。	<b>相談支援事業所連絡会に参加</b> 。1000人のまちプロジェクトに向けたケース検討等を行う。  又、基幹相談支援センター設置を据えて、 <b>相見談支援事業所連絡会で協議を行った</b> 。

# 16. 2021年度 シンフォニー Report

## Concept 「地域に求められる事業所へ」

	財務の視点	顧客の視点	業務プロセスの視点	学習と成長の視点
重要指標	稼働率のUP	ご利用者の方が求める支援	個別支援計画の見直し	資格取得
目標	新規契約者数増(在宅)	ご利用者一人ひとりの身体状況のアセスメント	ご利用者のアセスメント状況を支援内容に繋げる	資格研修への参加
目標値	① 相談支援センターとの連携(毎月) ② 新規契約件数(2件以上/年)	①ご利用者一人ひとりの身体・家事援助の必要な状況把握(4月中に実施) ②ご利用者一人ひとりの必要な支援マニュアルの作成(5月・6月中に実施) ③ご利用者一人ひとりの支援マニュアルを各職員に共有と試験的に実施(7月・8月・9月中に実施) ④必要な支援(身体・お部屋の状況を確認する中で、常時アセスメントを実施)の把握を行い、必要があれば3ヶ月ごとの見直し。(毎月:アセスメント一月末の記録にまとめて記入)(10月・12月・3月:マニュアル・個別支援計画へ反映)		①実務者研修 1名 ②強度行動障害支援者養成研修 2名
実績値	①毎月実施 ②新規1件(身体介護)利用日数増1件(既存の家事援助に加え身体介護)	個別支援計画の作成・共有を実施。6月末に見直し、7月からの計画へ反映。 ①実施済み ②実施済み ③実施済み ④実施済み		①1名受講 ②基礎研修1名 実践研修1名 計2名受講

# 17. 2021年度 ほほえみの里 Report

## Concept 「笑顔と安心を大切にして、住み慣れた自宅で生活する」

	財務の視点		顧客の視点		業務プロセスの視点	学習と成長の視点
重要指標	安定した収入の確保		選ばれるデイサービス		ADLの維持及び向上の実践	施設全体のスキルアップの実践
目標値	(デイ) 稼働率の向上	(デイ) 新規利用者の確保 (2名/月)	(デイ) 登録人数を増やす	(居宅) 地域からのケアマネジメント依頼を積極的に受託	(デイ) 科学的介護情報システム『LIFE』を実践できる加算の算定を目指す	(デイ) 認知症ケアの充実  (居宅) BCPの実践及び高齢者虐待防止の推進
実績値	(デイ) 4月 → 87.7% 5月 → 94.8% 6月 → 87.5% 7月 → 84.7% 8月 → 87.7% 9月 → 89.9% 10月 → 84.6% 11月 → 86.7% 12月 → 92.8% 1月 → 87.1% 2月 → 88.6% 3月 → 90.1%  年間平均稼働率 88.5%	(デイ) 4月 → 8名 5月 → 3名 6月 → 0名 7月 → 2名 8月 → 1名 9月 → 3名 10月 → 3名 11月 → 4名 12月 → 5名 1月 → 2名 2月 → 1名 3月 → 1名  月平均 2.75名	(デイ) 4月 → 94名 5月 → 95名 6月 → 95名 7月 → 93名 8月 → 91名 9月 → 87名 10月 → 95名 11月 → 97名 12月 → 102名 1月 → 100名 2月 → 99名 3月 → 100名  月平均登録者95.6名	(居宅) ケアマネー人35名 担当で換算 (予防給付込み)  97%/6か月平均	(デイ) 7月より国保連合会にご利用者の情報(LIFE)の提出を行っています。	(デイ) 6月に京都府認知症実務者研修に参加しましたが、体調不良のため途中キャンセルとなりました。  (居宅) 【BCPの実践】 現在計画作成中です。 【虐待防止の推進】 施設で研修の機会を設けました。

# 18. 2021年度 橘 Report

## Concept 「寄り添い支えあい、住み慣れた地域での穏やかな生活支援」

	財務の視点		顧客の視点		業務プロセスの視点		学習と成長の視点	
重要指標	安定した施設経営		安心・安全で潤いのある暮らし		働きやすい職場環境		チーム力強化・人材育成	
目標値	①入居稼働率 99.5%  ②新規入居者 介護度4以上 70%以上 or 認知症自立度Ⅲ以上 65%以上	①ショートステイ 稼働率 99.5%  ②新規利用者 獲得 1名以上/月	①インシデント 件数前年同月比 10%削減  ②見守りシステム 活用による リスク対策 10件/年間	①ADLの維持・ 生活機能・向上 に向けたレク 実施 5件以上/年  ②24Hシート作成・ 更新件数 20件以上/年	①有給消化率  75%	①超過勤務 時間  前年比-10%	①法人内 研修参加率  90%/対象者	①施設内 勉強会  3回以上/年
実績値	<<入所>> ①前年度比較-1.8% 前年度平均94.9% 今年度平均93.1%  ②新規入居13名受け 入れ中・要介護4以 上9名の受け入れ実 績にて69%で70%を 下回った。  認知症自立度Ⅲ以上 84%受け入れで 65%以上を達成。  重度化した入居者に 対し、区分変更申請 代行を計8名実施。	<<ショートステイ>> ①前年度比較 +7.7%  前年度平均 75.2%  今年度平均 83.9%  ②新規利用者契 約者29件/年の受 け入れを実施する ことが出来た。	①前年度 計39件 今年度 計57件 前年比+18件 +46%  ②新規入居者 13名と既存入居 者15名の検知項 目の検討・見直し  ショート12名の設 定と見直し改善 を実施し見守りシ ステム活用リス ク対策を実施。	①今年度計10件 実施 利用者様と一緒に 出来るユニット調 理。 看護師指導による 転倒予防体操。 園庭での野菜・お 花の栽培など計 10件のレクを実施。  ②一部ユニットの みの進捗であった が、今年度は全入 居者(新規含む) の24Hシートの作 成に取り組むこと が出来た。	①今年度計 416.5日消化 消化率 69.5%  下半期は退職 者による有給 消化も重なり 239日消化と なった。	①前年度計 300時間 今年度計 378時間 前年比26% 増  2人の正職が 退職し、フォ ロー残業含め、 下期は計208 時間と前期よ りも増加となっ た。	①コロナ禍によ りWEB研修を 含め、法人内 研修と合わせ て37名中35 名参加94% 対象者の参加 率となった。  (実践報告動 画視聴会と実 務者研修含 む)	①介護技術 の基本研 修・新経営 理念の勉強 会・PPE着 脱・WEBシー ティング研修 など計5回の 勉強会を計 画・実施する ことができた。